



## パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年6月9日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室  
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



### 第583回例会 6月9日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 鈴木和行、鷺津有一 ●点鐘: 小林昭次
- ゲスト: 米山記念奨学生 于春蘇さん、浜北RC 岩崎伸次様
- 議事: 青少年育成委員会「青少年交換の現在、未来」

<出席報告> 本日出席率63名 80.76% 前々回出席率84.61%

#### ■会長挨拶

今日は我々住宅業界についてお話しさせていただきます。

住宅数はすでに減少化しており、ストックが多く初回数を越えています。それから、住宅の対応年数が長くなっているの、新設住宅の着工数はもっと減るだろう、と予測しています。

もう一点は、大工さんが減っているという事です。1980年には全国で93万7千人いた



大工が、30年後の2010年には39万7千人になりました。30年間に54万人減った事になります。年間1万8千人づつ減っている現状です。大工一人当たりの担当面積を計算しますと、1980年は122.1平米だったのが、2010年には186.1平米となり、大工の生産性は1.5倍に増えました。これは勤務時間が増えた訳ではなく、機械化・工業化・プレハブ化が進行したからです。役所の縦割り業務のなせる技で、全体としては工業化やプレハブ化が進まない、職人が減少している現場を支える事が出来なくなっている、というわけです。熟練した大工の技術が失われていく中、今後はどう品質を保つてゆくかが業界の大きな課題の一つとなっております。

#### ■幹事報告

6月9日幹事報告です。おはようございます。

本日の配布物は、この後の臨時総会の議案書と収支一覧の1枚です。

宜しくお願い致します。

また、オールパワーで新入会員候補者の公示をメールさせて頂きました。ご確認をお願い致します。

#### ■臨時総会

議長: 小林会長

議事録: 鈴木孝尚

署名人: 池田龍郎、富田清志

2014-2015 年度臨時総会が会員数 78 名、出席 61 名の中で開催されました。

第1号議案: 次年度以降の年会費値上げについて

本年3月の理事会で承認されています。

夜間例会を減らし朝例会としたり、IMを例会扱いとしたり、事務局コストの圧縮などに務めて参りましたが、止むを得ず月額2,000円の増額としたいと思います。

賛成多数(59名)にて承認。

#### ■スマイル

池田龍郎:

6月20日・21日の2日間に亘って、浜名湖ガーデンパークの大駐車場をお借りして、第5回目のオートバイイベントを開催します。大会の名称は「はままつポンポン祭り」。オートバイをポンポンと呼んでいた事からこの名称となりました。オートバイ競技の観戦以外にも、子供達が参加体験できるキッズバイクやキッズカート、ランニングバイクなどを用意し、楽しんで頂けるよう工夫しました。是非お越し下さい。

## ■議事

「青少年交換の現在、未来」 担当：青少年育成委員会  
熊谷真一 寺田洋平 藤田光弘 西尾文克 リビー ジョゼフ  
マテウー



青少年育成委員会のメンバー寺田さん、藤田さんからご挨拶いただいた後、熊谷より、交換学生を送り出した際の経験、感想等を紹介させていただきました。またフランスでホストクラブとしてお世話になったシェルロータリークラブに、本年2月、御礼訪問に行きましたので、その報告もさせていただきました。シェルロータリークラブは25名という小さなクラブにもかかわらず毎年1～2名の交換学生を受け入れている、青少年交換に積極的なクラブでした。歌や卓話はなく、進行している事業報告、終了した企画の結果報告が熱心に議論されておりました。



さらに、フランスでは、本クラブで受け入れたジュピア・マリーヌにも面談してまいりました。マリーヌは、パリにあるフランス国立東洋言語文化大学に入学し、日本語の勉強を続けております。日本にいた時よりも落ち着いた雰囲気、またすぐにでも日本に行きたいと言っていました。

続いて、地区の国際奉仕委員会で活躍している西尾文克会員より、5月に静岡で開催された「日本青少年交換研究会 富士の国会議」について、紹介いただき



ました。国際的な交流ができ、これからの世代を担う若者の世界的視野を広げることができる事業であり、ROTEXの

今後の活動も含めて、青少年交換の未来図を見せていただいたのではないかと思います。ほかの団体にはない素晴らしい事業であり、本年も8月まで交換学生を募集中です。

最後に、地区の青少年交換事業に7年間携わっているジョーさんに登壇いただき、現状、問題点などを紹介いただきました。本日の紹介により、青少年交換事業がますます活発になることを期待しております。



青少年交換事業を支えてくれた会長幹事、理事の皆様、八田さん、今も陰で支え続けているジョーさん、これからの活躍が期待される西尾さん、そしてパワー浜松ロータリークラブ全会員に感謝申し上げます。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。